



平成24年5月1日（火）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部  
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号  
電話番号 : 03-5408-4620  
発行責任者 : 白土 雄二郎  
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

## 第99号

### 【目次】

1. 石川新社長就任挨拶
2. 社船リプレース実施、省エネ船へ
3. 運輸安全マネジメントについて
4. 2011年度「物流効率化」提案実績
5. 関連企業の活動紹介
6. 派遣法改正セミナー 参加レポート
7. ロジスティクスSCM流通フェア 参加レポート



## 1. 石川新社長就任挨拶

三菱化学物流(株) 取締役社長 石川 甚秀

この4月に、前社長の白石の後を引き継ぎ社長の大役を仰せつかりました。

私は、三菱化学社四日市事業所企画管理部長、本社技術部長、水島事業所長等を経験し1月に当社に参りました。

さて、日本経済は、昨年震災以来緩やかな回復の基調であったものの、EUの金融不安や中国のインフレ等による景気減速、またそれに関連した記録的な円高という複合的な景気下振れ要因により、大変厳しい環境にあります。更に、本年度は当社の顧客満足最大化を目的とした中期経営計画『READ2012』の最終年度でもあり、「待ったなし」の状況にあります。そこで、“ピンチをチャンスに変える”ためには、三菱ケミカルホールディングスの行動規範『APTSIS』、特にAgility(俊敏さ)を常に意識し、当社のあり方・スタンスをゼロベースで見直し、PDCAサイクルを回し果敢に変えていく必要性を、私は強く感じております。

また、そのベースとして「三現主義(現地・現物・現象)」で不具合の真因を把握し、お客様の実態に合った解決案を策定していく、言わば「現場力を発揮する」ことが大切です。ご存知の通り、私共のLIFEチームはそれを体現したもので、永年の経験で豊富なノウハウを蓄えて参りました。また、当社の培った知見、経験、実力をソリューション力として結集かつ強化を図り、更に、情報の共有化、価値観の共有化を意識し、全員参加で課題解決に取り組むことで、お客様のご期待により一層お応えできると信じております。

当社は、「信頼されるソリューションプロバイダーとして、価値あるロジスティクスを創造し、お客様と社会の発展に貢献します」という経営理念のもと、常に時代を先取りする総合物流会社として、お客様のご期待に応えて参ります。引き続き本誌ともどもご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



## 2. 社船リプレース実施、省エネ船へ

当社は現在、社船を7隻保有していますが、そのうち1993年に建造された「第5菱化丸」を新しい船にリプレースすることを決定致しました。

原発問題などで一層の節電・省エネ実施が問われていますが、当該リプレース船は最新技術の省エネ機器を搭載した省エネ船として計画しています。

主な省エネ機器は、①内航商船として初めてとなる二重反転プロペラ(2枚のプロペラがそれぞれ逆方向に回転)を中速エンジンに直結する推進システムを採用し、②燃料噴射量や時期を電子制御で行う電子制御式エンジンを搭載し、従来船に比べ燃料消費量の大幅な改善を図ります。

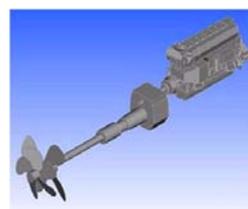
また、ポンプルームを設けずに荷役ポンプを甲板上に設置したディープウェルポンプを採用し、乗務員の被液リスクを低減したり、パソコン上に海図が映し出され、GPSにより自船の位置も示される電子海図情報装置を設置するなど、安全性向上のための機器も搭載します。

リプレース船の建造は、従来船と同様に恭海海運社と共同で、前畑造船社(長崎県佐世保市)で建造し、2012年9月就航を予定しています。



第5菱化丸

※二重反転プロペラ ⇒



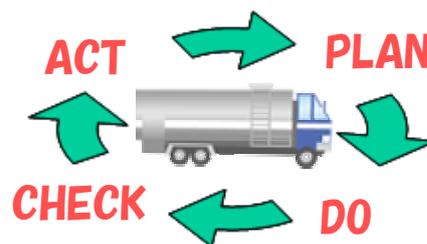
## 3. 運輸安全マネジメントについて

運輸安全マネジメント制度は、2005年度に起きたヒューマンエラーによる事故の多発を受けて国土交通省により創設された制度で、2006年10月より開始されています。企業等の品質管理の自己評価基準であるISO9000シリーズを参考としており、

[1]鉄道・自動車・海運・航空の運輸事業者が、経営トップから現場まで一丸となって、いわゆる「PDCAサイクル」の考え方を取り入れた形で安全管理体制を構築し、その継続的取組みを行う、  
[2]事業者が構築した安全管理体制を国が評価する「運輸安全マネジメント評価」を実施することにより、運輸事業者の安全風土の構築、安全意識の浸透を図るというものです。

運輸安全マネジメント評価において国は、社長、取締役といった経営責任者から、安全管理体制等について直接インタビューを行い、関係する書類を確認します。いわゆる指導・処分といった性格ではなく、安全確保のための助言等を中心に事業者との対話を重視し、「安全管理規程に係るガイドライン」に基づき評価し、その取組みをより一層向上させるため、改善方策について助言等を行います。本制度は、いわゆるPDCAサイクルによる取組みの向上を図るもので、保安監査と車の両輪となって実施することにより、運輸のより一層の安全確保が図られています。

国土交通省は、本制度導入5年目を機に、「運輸の安全確保に関する政策ビジョン」を昨年12月に策定しました。それによると、大手中堅事業者を中心にPDCAサイクル全体がようやく機能し始め、安全確保上の効果も実際に生じていると評価されています。同時に、中小事業者に対する運輸安全マネジメントの一層の普及や、マネジメントを行う人材の育成などの課題も指摘されました。



## 4. 2011年度「物流効率化」提案実績

私どもが担当しております2011年度の「物流効率化」の提案実績は約12件になります。

既に当社が業務を受託しているお客様だけでなく、新規のお客様への「物流効率化」の提案を行い、2011年度も多数のお客様から高評価を頂いております。提案先のお客様としては、一昨年と比べて昨年度は新規のお客様の検討案件が多くみられました。

当社の物流診断は過去からのノウハウや経験から裏打ちされた技法を活用して行っておりますが、昨年度は本紙第97号でご紹介しました3Dシミュレーションソフトを新たに導入しました。このソフトは調査、解析から得られたデータを基に改善案の動きをパソコンの画面上で再現できるため、プレゼンの説得力が増すばかりでなく、聞き手側では実際に人・運搬機器・包装機等の動きを見る事ができ、改善案のイメージが掴み易く、より内容を理解頂けると考えております。

現在の物流診断技法に加えて、新たな解析ツールの開発、導入を推進し、今後も提案内容の向上、より分かりやすいプレゼンの実施に努めてまいりますので、今後とも当社を宜しく願ひ申し上げます。

2011年度の主な「物流効率化」の提案事例

	提案先	物流規模		分野				効率化率 (ロス率)	検討人役	検討期間
		工場	倉庫	輸送	構内	仕組	在庫			
1	A化学メーカー	1			○			4%	3人	4か月
2	Bフィルムメーカー	1			○	○		23%	3人	4か月
3	C化学メーカー	1	3	○		○	○	9%	3人	4か月
4	D化学メーカー	1	1	○	○		○	14%	2人	5か月
5	E樹脂メーカー	1		○				11%	3人	4か月
6	F化学メーカー	4		○				16%	1人	7か月
7	G化学メーカー	1		○	○			5%	2人	7か月

## 5. 関連企業の活動紹介

今回から、当社の関連企業である「菱化ロジテック社」を紹介致します。

菱化ロジテック社は1968年に北九州で設立した洞南産業を発祥とし、これまで当社の主要拠点毎に配置していた物流子会社を統合して、2009年4月1日に設立しました。

東京本社以下、支店6ヶ所、営業所7ヶ所を置き、トラック部門・ローリー部門・生産物流部門を中心に営業しています。

専用車両や特殊車両を含め612台を保有し、全国規模の物流実務を遂行しています。

デジタルタコグラフやドライブレコーダーを導入した安全管理を柱に、運行効率の向上やエコドライブの推進、乗務員の拘束時間管理に力を入れており、安全で安心な物流サービスを提供することでお客様に信頼される物流会社を目指しています。

会社概要	
設立	2009年4月1日
資本金	1億円
従業員数	672名 (2012年3月末日現在)
保有車両	612台 (2012年4月1日現在)



## 6. 派遣法改正セミナー 参加レポート

2012年3月28日、参議院にて「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」(派遣法)の改正法案が可決され、これを受けたセミナーが開催されましたので、参加してまいりました。

今回参加したセミナーは、主に派遣社員を受け入れる企業(派遣先)の立場に立った内容となっており、「物流業界を取り巻く労働市場環境」「今回の改正のあらまし」「改正にあたって派遣先企業が留意しなければならない点」という構成でした。

今回の改正は、規制強化を前面に押し出した当初案に対し、緩和の方向に大きく修正を加えたものとなっているということですが、30日以内の日雇い派遣が原則禁止されるなど、様々な変更点があり、今まで以上にコンプライアンス順守に配慮していく必要があるようです。

改正法は、2012年4月に公布、2012年10月より施行される予定であるとのこと、今後、派遣先・派遣元企業で具体的に対応すべきことについては、政令等により徐々に明らかになっていくことと思われます。

派遣法は、当社を含む物流業界のみならず、多くの企業にとって密接な関連があるものと思いますので、詳細が判明次第、本紙でも取り上げていきたいと考えております。

## 7. ロジスティクスSCM流通フェア 参加レポート

2012年3月16日秋葉原UDXカンファレンスにて『ロジスティクスSCM流通フェア』が開催されました。内容は特別講演、セミナー受講及び展示閲覧の3部構成でした。

特別講演のうち湯浅コンサルティング社発表の「今後のサプライチェーンのあり方について」を聴講しましたが、ご存じの通り昨年発生した東日本大震災並びにタイの洪水被害等で各社のサプライチェーンの重要性が更に問われるようになっていきます。当然ですが、すべての有事に対応できるいわゆる「切れない鎖」は作れないので、いかに切れにくい鎖にするか、またいかに迅速に鎖をつなぎ直すかという回復力(Resiliency)を強化する事がポイントとして挙げられていました。

その安定供給のためになすべき事として①迅速で最適な判断を下すためにサプライチェーンマップを作成し可視化する。②部品、原材料の複数先からの調達及び自社生産拠点の分散化(攻めの分散)③部品、原材料だけでなく業務プロセス、情報システムを含め標準化し差異化のコンセプトからの変換がうたわれていました。

またそういったサプライチェーンマネジメント実現の前提として自社ならびに1次、2次ベンダー各社のロジスティクスが機能していることもポイントとして挙げられていました。

当社もお客様のサプライチェーンの中で柔軟性のある鎖の1つとなれるよう、日常の仕事のやり方の中に回復力を組み込み、且つ競争力を高めて業務に取り組まなければならないと感じました。

### 芝のそよ風

ソリューション営業部 北原 美貴

春を迎えた日本のオフィス街で見かける、勢いをもって朗らかに進むフレッシュな新社会人の姿には見ているこちら側まで元気になります。こうした姿に、多くの人が初心を思い出して新たな一步を踏み出すことって、震災後の日本にとっても大切なことですね。

さて、海外では日本で生まれた『キティちゃん』が爆発的に人気だそう。香港の女性たちは自分のイングリッシュネームに“KITTY”と名付けるほどだとか？ ハローキティの「仲良く」は赤いリボンの結びから、キティちゃんに口がないのは「口で言うより行動で助け合おう」ということだそう。キティを通じて、「仲良く助け合って生きる」というメッセージが世界中に伝わり、「日本人ってこういうものなんだ」と知ってもらえたら嬉しいですね。「かわいく」「仲良く」「助け合って」生きるキャラクターイメージが世界中に愛され、震災後の日本を再生するキーワードになるかもしれませんね？